認定第１号

令和２年度社会福祉法人八千代町社会福祉協議会事業報告

今日、少子・高齢化や生活様式の変化に伴い、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、家族力の低下及び地域連帯感の希薄化が進んでいます。さらに経済情勢や雇用環境の厳しさは増し、社会的孤立や経済的困窮、低所得の問題など、地域における生活課題は多様化・深刻化しています。

このような中で、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を使命とする社会福祉協議会として、地域福祉の課題を把握しその解決に向けた様々な取り組みが求められています。

社会福祉協議会では地域における社会福祉法人としての存在意義を明らかにしながら「我が事、丸ごと」の理念のもと、地域に住む全ての人が連携・協力しながらお互いに支え合う「地域共生社会」の構築を目指し、町の地域福祉計画と合わせて策定した「八千代町地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉の推進を目的とした実践的な活動・行動を明確にすると共に、これまでの活動で培ってきた経験や手法を活かしながら、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に努めました。

重点項目への対応状況

（1）「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に努めました。

（2）「八千代町地域福祉活動計画」に基づき各種事業を実施し、地域福祉の充実に努めました。

（3）多様なニーズに対応できるボランティアの育成と活動を支援し、地域福祉を推進しました。

１　事業概要

（1） 法人運営

① 理事会、評議員会等を開催し、社協事業の適正な運営を図りました。

開催日	会　議　名	内　　容
R2.5.20	監　査　会	令和元年度八千代町社会福祉協議会事業報告・収入支出決算の監査
R2.6. 1	理事会決議省略	令和元年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和元年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会評議員会に推薦する役員の候補者ついて 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 八千代町社会福祉協議会定時評議員会の省略について
R2.6.22	定時評議員会決議省略	令和元年度八千代町社会福祉協議会事業報告について 令和元年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出決算について 八千代町社会福祉協議会役員の選任について
R2.6.22	理事会決議省略	八千代町社会福祉協議会常務理事の選定について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会に推薦する評議員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
R2.7.17	評議員選任・解任委員会	八千代町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員長の選任について 八千代町社会福祉協議会評議員の選任について

R2.10.6	理　事　会	八千代町社会福祉協議会評議員会に推薦する役員の候補者について 八千代町社会福祉協議会評議員会の招集について
R2.10.6	評 議 員 会	八千代町社会福祉協議会役員の選任について
R2.10.6	理　事　会	八千代町社会福祉協議会会長の選定について
R3.3.30	理　事　会	令和２年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算について 令和３年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和３年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について 八千代町社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結について 八千代町社会福祉協議会評議員会の招集について
R3.3.30	評 議 員 会	令和２年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算について 令和３年度八千代町社会福祉協議会事業計画について 令和３年度八千代町社会福祉協議会一般会計収入支出予算について

② 社協会員加入を促進しました。

社協会員会費　　普通会員　　４，８９９世　帯　２，４４９，５００円

（特別会員の募集は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。）

（2）高齢者福祉対策

① 老人クラブ連合会の育成援助

老人クラブ連合会単位会長・女性部長研修、高齢者芸能のつどい (地区ごとに開催)を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

会員数２３０名

② 寝たきり高齢者等への理髪料助成

民生委員の協力のもと、在宅で要介護３以上の助成申請者を対象に理髪料の助成を行い、介護者の労力の軽減と要介護者の衛生管理に努めました。

利用延人数　　８０名

③ 敬老祝い品の贈呈

町内の８８歳到達者及び１００歳以上の高齢者宅へ、社協会長または社協職員が訪問し、敬老を祝うと共に祝金品を贈り、高齢者福祉の充実に努めました。

敬老祝実績

性別	88歳	100歳	101歳	102歳	103歳	合計
男	47	0	0	1	0	48
女	70	7	7	2	1	87
計	117	7	7	3	1	135

④ ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

ボランティアの協力により、７０歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、毎月２回、第２・４火曜日に安否確認を目的とした友愛訪問と併せてお弁当を配付し、高齢者福祉の向上に努めました。

実施回数　　１４回
利用延人数　　１，６０８名
（月平均利用者数１１４．９名）

⑤ ひとり暮らし高齢者いきいきツアー

７０歳以上のひとり暮らし高齢者の外出の機会や社会参加を目的として、観光地　の見学や道の駅等で買い物を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

⑥ 高齢者世帯クリスマス料理配付事業

７０歳以上のひとり暮らし高齢者の方へ 、民生委委員の協力を得てクリスマス料理をお届けし、高齢者福祉の充実に努めました。

配布実績　　ひとり暮らし高齢者　２４７名

⑦ ふれあいいきいきサロンの設置

地域の高齢者等の仲間づくりや生きがいづくりを目的に、地域の公民館等に月１回以上集まりグラウンドゴルフや健康体操などを実施し、コミュニティづくりの推進に努めました。（平塚西部・蕗田・高野・菅谷西部・仁江戸・西大山・川尻・兵庫沼端）　　８ヶ所

（3）障がい者福祉対策

① 身体障害者福祉協会への育成援助

町身体障害者福祉協会への活動支援として、町身障者スポーツ大会の開催や茨城県身障者スポーツ大会への積極的参加を呼びかけ、生活意欲の向上を図れるよう計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

会員数　　３３名

② 視覚障がい者への「声の広報やちよ」のサービス

ボランティアサークルの協力のもと、町内の視覚障がい者へ「声の広報やちよ」を毎月届ける計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

③ 親子すこやか交流事業

町内の障がい児を対象に、ボランティアの協力を得ながら親子で社会参加できる機会を提供し、障がい者福祉の向上に努めるよう計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

（4）ボランティア活動の推進

① ボランティアの育成援助

ボランティアの相談、斡旋、登録等、ボランティア活動の向上に努めました。

ボランティアセンター登録者数　３８名

② 福祉教育への参加、協力

町内の小学校からの福祉体験学習の依頼を受け、個人ボランティアや手話サークルの協力を得て、車いすの介助方法や目や耳が不自由な方への介助の仕方、手話でのコミュニケーション方法を学び、福祉に対する理解を深めてもらいました。

実施校数　　３校

（車いす３回、アイマスク２回、シニア体験１回、手話３回）

③ ご近所声かけ隊事業

隊員として登録しているボランティアが、ひとり暮らし高齢者や小学校の下校時の児童に声かけや見守りをすることで、地域の安全確認に協力し、福祉コミュニティづくりの推

進を図りました。

隊員登録数　　２５名

④ ボランティア連絡協議会の育成援助

今後益々必要とされるボランティア活動を推進するため、ボランティアサークル及び個人ボランティア相互のつながりや、情報の共有・協働による活動展開ができるよう、連絡協議会の活動支援を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

サークル登録数　５サークル　　１２９名
個人ボランティア登録数　　１１名

⑤ ボランティア活動保険加入受付

ボランティア活動中の事故に備えて、ボランティア活動保険等の保険加入を受け付けました。

活動保険加入者　　４７２名
行事保険加入者　　４５１名
福祉サービス総合補償保険加入者　１９名

⑥ 寄附金品の受入れ及び払出し（善意銀行）

町民の方からの善意をお預かりし、地域福祉向上のために役立てました。

寄附金　１１件　　２７１，０４４円
物　品　４６件（使用済み切手、タオル等）

「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を推進するため、町民を対象とした福祉向上につながる活動に助成をしました。

団体名	事業内容
八千代オハナこども食堂	子ども食堂の開催
社会福祉法人　紬会	ヘルメット寄贈で地域貢献事業

⑦　夏休みチャレンジ体験講座の開催（小学４年生～６年生対象）

子どもの頃から、防災や地域福祉に対する理解や関心を高めてもらうために体験講座を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止といたしました。

（5）児童福祉対策

① サンタクロース派遣事業

保育園・幼稚園のクリスマス会などの行事にサンタクロースを派遣して、子どもたちへプレゼントを届けました。

（たちばな幼稚園・みどりが丘保育園、さわきこども園、八千代中央幼稚園、中結城保育園、ひかり保育園、安静保育園）　７園７４２名

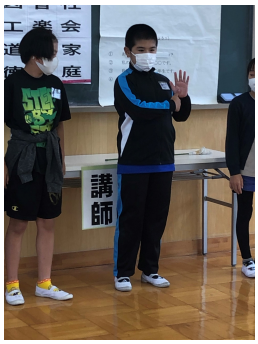
② 保育園・幼稚園への支援

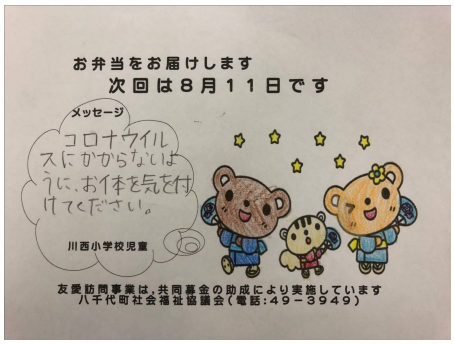
運動会開催時に助成をし、児童福祉の向上に努めました。

保育園・幼稚園　９園

③ 福祉教育推進学区指定事業

令和元年度から２年間川西小学区を指定し、福祉体験学習や認知症サポーター養成研修等を実施し、子どもの時から社会福祉への理解と関心を高め、福祉の増進に努めました。





④　子育て支援

子育て支援事業の実施団体へ助成をし、児童福祉の向上に努める予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動自粛となり中止としたしました。

対象団体　八千代町地域女性団体連絡会

（6）　母子福祉対策

母子寡婦福祉会への育成援助　　会員数　　１８名

母子、父子家庭の新入学児童へ祝品を贈りました。　　３名

（7）低所得世帯対策

① 生活福祉資金貸付事業

茨城県社会福祉協議会が行う貸付制度で、低所得世帯、障がい者の世帯、高齢者世帯の生活向上のため、貸付及び世帯更生指導を行いました。

年間相談件数　3件
貸付利用者　6名（うち新規0名）
償還完了　1名

② 新型コロナウイルス感染症による生活福祉資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金で困った方を対象として、緊急小口資金と総合支援資金の貸付を行いました。

緊急小口資金　２３７件
総合支援資金　２３２件
総合支援資金延長貸付　７７件
総合支援資金再貸付　５９件

③ 小口貸付資金貸付事業

民生委員の協力のもと小口貸付資金の活用により、低所得世帯の更生助長に努めました。

年間相談件数　３１件
貸付利用者　１０名
うち償還完了　5名
貸付総額　２２０,０００円

④ 生活困窮者への食糧支援

フードバンク茨城から提供を受けた食糧を備蓄しておき、行政や社協へ相談に来た緊急性の高い生活困窮者への対応として、食糧の支援を行いました。

支援延件数　３４件

（8）相談事業

① 心配ごと相談事業

毎月第２・４火曜日に中央公民館談話室に相談所を開設しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、電話相談のみ受け付けをし、人権擁護員・行政相談員・学識経験者等の相談員が、住民の様々な悩みごとの相談に応じました。

また、専門的な相談については、法テラス等の各専門機関と連携して必要な情報提供や適切な助言を行いました。

開所回数　１２回
年間相談件数　7件

② 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

認知症高齢者、知的、精神障がい者等で判断能力が不十分で親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きや通帳や証書などを預かり日常生活上での金銭管理を援助し、地域福祉の向上に努めました。

支援延時間　　１４時間

（9）在宅福祉サービスセンター（有償ボランティアサービス）

高齢者のいる家庭、子育てなど在宅で福祉的援助を必要とする方が地域で安心して生活できるようサービスを提供し、在宅福祉サービスの向上に努めました。

協力会員　　１３名
高齢・子育てサポート利用者　　６名
利用延時間　　２６４時間

（１０）障がい者総合支援法事業

障がい者居宅介護、重度訪問介護（ホームヘルプ）

障がい者が、可能な限り在宅生活が送れるように、入浴・排せつ及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行い、在宅福祉の向上に努めました。

利用者　１名　　利用延時間　１２時間

（１１）受託事業

① 軽度生活援助事業

日常生活に軽易な支援が必要な、在宅のひとり暮らし高齢者に対し、住み慣れた自宅での生活がこれからも続けられるよう、ホームヘルパーが訪問し調理や掃除、ゴミ出し、服薬確認等の日常生活上の支援を行いました。

利用者　４名　　利用延時間１１９時間

② 地域生活支援事業（スキルアップ手話講座）

日常会話の手話の読み取り・基本表現の習得を目指し、手話ボランティアの活動や、地域の聴覚障がい者と手話で会話ができるよう手話を学びました。

受講者数　１７名
実施開数　２０回

（１２）介護保険事業

① 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

生活の支援や介護が必要な方が住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるよう保険・福祉・医療サービスを総合的に提供し、利用者の心身の状況にあわせて自立した日常生活を営むことができるよう介護サービス計画（ケアプラン）を提供しました。

月平均利用者数　　８４名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護1～5	69	69	67	66	67	64	62	62	63	63	64	61	777	761	＋16
要支援1～2 事業対象者	20	19	19	20	19	20	20	19	20	19	18	18	231	225	＋6
合　計	89	88	86	86	86	84	82	81	83	82	82	79	1,008	986	＋22

② 訪問介護事業（ホームヘルプ）

在宅での介護を必要とする要支援、要介護の方に対し、関連機関と連携し、身体介護、その他必要な日常生活上の家事支援を行い、利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活の継続と要介護状態への進行防止を図る訪問介護サービスを提供しました。

月平均利用者数　　２０名

月別利用状況

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年	増減
要介護1～5	14	13	13	12	12	12	13	14	13	14	11	12	153	164	-11
要支援1～2 事業対象者	7	7	7	6	8	8	8	8	8	8	10	10	95	82	＋13
合　計	21	20	20	18	20	20	21	22	21	22	21	22	248	246	＋2

（１３）共同募金事業

① 赤い羽根共同募金事業の推進

茨城県共同募金会八千代町共同募金委員会として、１０月１日から赤い羽根共同募金運動を実施しました。

② 歳末たすけあい配分事業の実施

民生委員の協力を得て、町内のひとり暮らし高齢者や身体障害者など、支援を必要とする方々へ、支援金として配分を行いました。

配分基準	今年度	前年度	増減
ひとり暮らし高齢者	２４０名	２１９名	＋１１
身体障害者手帳１級保持者	１６７名	１５０名	＋１７
精神保健福祉手帳１級保持者	０名	１名	－１
療育手帳Ⓐ・A保持者	４０名	３３名	＋７
母子父子世帯及び父母のいない世帯	１５１名	１４０名	＋１１

③ 赤い羽根　新型コロナウイルス子どもと家庭支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響による新たな福祉課題の解決を目的として、歳末たすけあい配分事業に併せて、不織布マスクの配布を行いました。

（１４）広報活動

①「社協だより」の発行（年１回）

②「ボランティア広場」の発行（毎月）

③ ホームページの公開

④ Facebook、Twitter の SNS による情報発信

（１５）その他

① 福祉機器貸出事業

日常生活を支援するため、病気やケガなどで一時的に福祉用具が必要な方に、車いすのまま乗り降りできる福祉車両や福祉用具を貸出しました。

福祉車両貸出　　６２件
車いす貸出　　１７件

② 町遺族連合会の活動及び県戦没者追悼式、県戦没者遺族大会の参加支援を行いました。

会員数　　４４８名

③ 施設配分助成金

町内の福祉施設が実施する高齢者や障がい者の生きがい支援を目的とする事業に対して助成を行いました。

（なごみ苑、あじさい学園八千代、欒欒、なかよし家族、フィオーレ、玉樹）　　６施設

配分総額　１０７，７８７円

④ 福祉団体助成事業

福祉団体に対して活動費の助成を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動自粛となり、中止といたしました。

（八千代町遺族連合会、八千代町身体障害者福祉協会、八千代町ボランティア連絡協議会、八千代町母子寡婦福祉会）

⑤ 三世代交流事業

地域の高齢者から子どもまで三世代がつどい、行政区の良好なコミュニティ形成の充実を図ることを目的とした事業に助成を行いました。

２行政区

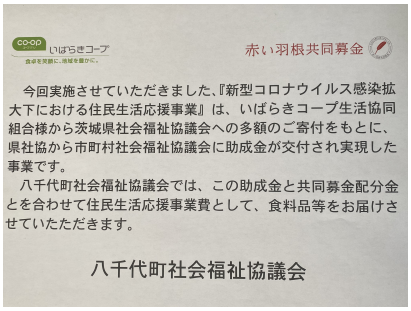
⑥　㈱セブン-イレブン・ジャパンによる地域福祉貢献活動に係る商品寄贈

茨城県、茨城県社会福祉協議会、㈱セブン-イレブン・ジャパンによる「社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定」が締結され、店舗改装などで発生した在庫商品の一部を地域における社会福祉活動と食品ロス削減に向けた取り組みとして、商品を寄贈していただきました。

⑦　いばらきコープによる住民生活応援事業

いばらきコープ生活協同組合からの寄付と共同募金配分金と合わせて住民生活応援事業費として、食料品をお届けしました。

配布世帯数　　５３世帯



令和３年　６月　１６日 提出
令和３年　６月　１６日 認定
社会福祉法人
八千代町社会福祉協議会
会　長　　野村　勇